2023 年 4 月 13 日

『新装改訂版　現代数理統計学』（竹村彰通 著，学術図書出版社）

正誤表　第 1 版 第 5 刷 用

頁	場所	誤	正
33	下 4 行目	ベータ関数の積率母関数	ベータ分布の積率母関数
89	2 行目	$t = \sqrt{n-1}(\bar{X}-\mu)$	$t = \sqrt{n-1}(\bar{X}-\mu)/s$
95	14 行目	頑健性については推定論の章 (7 章) 及びノンパラメトリック法の章	頑健性についてはノンパラメトリック法の章
97	8 行目	$\mathrm{N}(\mu, 1)$ から 1 個の観測値を得て μ を推定する	$\mathrm{N}(\theta, 1)$ から 1 個の観測値を得て θ を推定する
111	(5.11) 式	$R(\alpha, d_\alpha) =$	$R(\theta, d_\alpha) =$
114	下 4 行目	$= g\left(\frac{y}{\sqrt{n}}\right)\frac{1}{\sqrt{2\pi}}e^{-y^2/2-\theta^2/2}$	$= g\left(\frac{y}{\sqrt{n}}\right)\frac{1}{\sqrt{2\pi}}e^{-y^2/2}$
114	下 3 行目	(6.11) 式は	(6.11) 式に $e^{\theta^2/2}$ をかけることにより
117	7 行目	開集合であり，$T = (T_1, \ldots, T_k)$ の分散共分散行列は非特異であるとする．これらの条件のもとで，T は完備である．	開集合であるとする．この条件のもとで，$T = (T_1, \ldots, T_k)$ は完備である．
126	7 行目	$E_\theta\left[\left(\frac{\partial \log f(x;\theta)}{\partial\theta}\right)^2\right]$	$E_\theta\left[\left(\frac{\partial \log f(X;\theta)}{\partial\theta}\right)^2\right]$
167	1 行目	$A = \{x \mid T(X) \le c\}$	$A = \{x \mid T(x) \le c\}$
170	(8.18) 式	$\le P_{\theta_0}(U \le \alpha) =$	$\le P(U \le \alpha) =$
180	10 行目	$\alpha = E_{p_0}(\delta_{k,r})$	$\alpha = E_{p_0}[\delta_{k,r}]$
189	2 行目	$= (x - c'(\psi))p(x, \psi_0)$	$= (x - c'(\psi))p(x, \psi)$
206	(9.19) 式	$P_\theta(\theta \in S(X)) = 1 - \alpha$	$P_\theta(\theta \in S(X)) \ge 1 - \alpha$
259	8 行目	β を自由に動かして $Q(\beta)$ を最小化すれば	β を自由に動かせば
261	11 行目	$c^\top G_1\hat{\eta} = c\hat{\mu}$	$c^\top G_1\hat{\eta} = c^\top\hat{\mu}$
267	下 2 行目	自由に動くとき	自由に動かせば

273	(12.2) 式	$H_0 : \xi = \xi_0$	$H_0 : \xi \leq \xi_0$
278	下 15 行目	タイの与え方	タイがある場合の順位の与え方
281	5 行目	正確な有意水準 α	検定のサイズ α
312	下 10 行目	1702-61	1701 または 02-61
312	下 6 行目	1920 年代	1930 年代
316	7 行目，8 行目	$E_\pi(p)$	$E_\pi[p]$
324	2 行目	$f(x/\tau)/\tau$	$f(\|x\|/\tau)/\tau$
325	下 3 行目	$I(p) = 1/(p(1-p))$	$I(p) = n/(p(1-p))$
325	下 1 行目	$\pi(p) = p^{-1/2}(1-p)^{-1/2}$	$\pi(p) \propto p^{-1/2}(1-p)^{-1/2}$
330	下 1 行目	最も不利な分布とはベイズリスクを	最も不利な分布とは δ_π を用いたときのベイズリスクを